

事務事業名	キッズタウン南アルプス支援事業		所属部局	教育委員会		単位番号	12507																											
			所属課室	生涯学習課		課長名	新津 岳																											
	☐ 実施計画事業		所属担当	青少年担当		担当者名	宮川 聡史																											
基本政策	基本計画	V個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目																								
政策	計画	24青少年の健全育成	事業区分	01	一般	1	0	0	4	0	3	0	3	0	2	7																		
施策	体系	38健全育成支援体制の強化充実		☐ 国の制度による義務的事業	☐ 施設等維持管理事業																													
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 22 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			法令根拠	南アルプス市青少年事業補助金交付要項																													
	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 キッズタウン南アルプス(職業体験をベースとした青少年育成事業)への補助金の交付		事業費の主な内訳 (22年度)																															
			<table><tr><th>項目(細節)</th><th>金額(千円)</th><th>項目(細節)</th><th>金額(千円)</th></tr><tr><td>協議会・協会・団体補助金</td><td>280</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>計</td><td>280</td></tr></table>													項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	協議会・協会・団体補助金	280													計
項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																															
協議会・協会・団体補助金	280																																	
		計	280																															

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	職業体験の場の提供(消防、大工、花屋、ネイルアート、服飾デザイナー、美容師、パティシエ、報道機関)、体験学習
23年度活動予定	"
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
市内在住の小学生	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
未来を担う地域の子ども達が、普段の生活では経験できない商業体験を実際に仕事に従事することで、働くことの楽しさや大切さを学ぶ。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
将来の夢や希望をより一層輝かせ、率先して社会に貢献する子どもたちを育成する。	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 募集人員	人
イ	
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 市内在住の小学生	人
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 参加人数	%
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 職業体験をとしての満足度	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	280	280	380	380	380	380	
	事業費計 (A)			千円	280	280	380	380	380	380	0
	人件費	正規職員従事人数	人		3	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間		8	8	8	8	8	8	
		人件費計 (B)	千円	0	36	32	32	32	32	32	0
		(A)+(B)			千円	280	316	412	412	412	412
活動指標			人	100.0	150.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
			人	4,834.0	4,760.0	4,760.0	4,760.0	4,760.0	4,760.0		
対象指標			%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
			%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
成果指標			%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
			%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
上位成果指標			%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
			%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成22年度から補助事業で実施している
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	平成22年度から補助事業で実施し始めたので今のところの成果(比較対象ができない) 国庫補助金が廃止された場合の対応について検討
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	今のところの成果(比較対象できない)
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	キッズタウン南アルプス支援事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 未来を担う地域の子どもたちに、学校の授業では経験できない職業体験の場を提供し、実際に仕事に従事することで、働く楽しさや大切さを教える
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 次代を担う青少年を育成する事業として期待している
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 現在のところ小学生1年～6年生に限定されている
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 市の支援事業としては22年度からの事業のため
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 今後の事業に期待している ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 今後の事業の動向による
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 すでに社団法人南アルプス青年会議所の事業であるため。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方・見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 事業が社団法人南アルプス市青年会議所の主催事業であり、事業が安定化してくれば可能となってくると思われる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 希望を募ったところ、予定人数を大幅に上回る参加希望者があり、予算、外部協力者(指導者)及び会場の都合等により制限をかけたと聞いている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	H21年度までは南アルプス市青年会議所(JC)が国補助金のみで実施していた事業であるが、H22年度から市補助金も予算化し、また人的サポートも行って事業実施をしている。事業内容は本来市当局が実施すべき内容と想定され、将来の南アルプス市民育成にも大いに貢献するものである。しかしながら対象が小学生であり具体的な効果が反映するのは10年スパンでの事業である。これらを加味してある程度の期間継続事業として今後も実施すべきである。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
①																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①		成果優先度評価結果	①																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	⑫																					